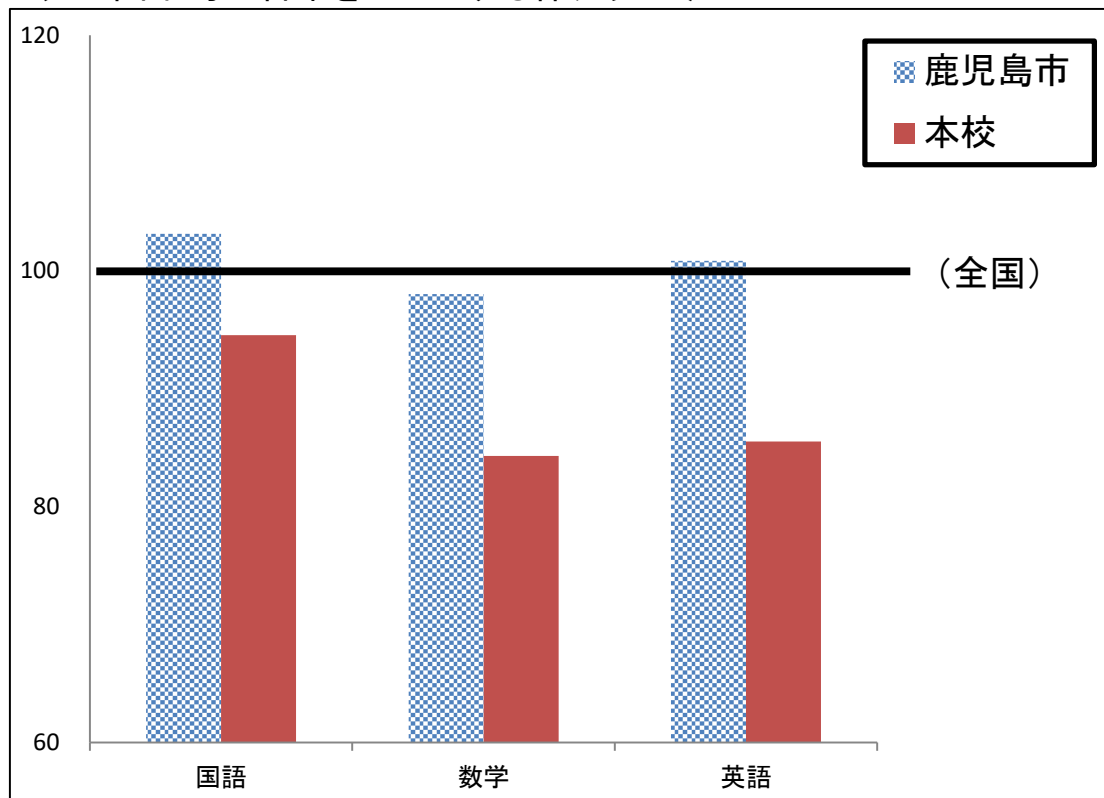


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

甲東中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

「読むこと」として表現の効果について考えたり、要旨を的確に把握する力が不足しています。また、「書くこと」として文章に即して漢字を書いたり、文章を整える力が不足しています。いろいろな文種の読みを通して、表現の特徴や筆者の意図を考えさせ、自分の言葉で表現することを継続して取り組んでいきます。

〈数学〉

与えられた表やグラフから必要な情報を読み取る力や、事象を数学的に解釈し問題解決の方法を数学的に説明する力が不足しています。また、条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由について証明を振り返って読み取ることに課題がみられました。今後の授業において、根拠を明らかにしながら説明する場面を取り入れ、数学的に表現する力を付ける指導の工夫を行っていきます。

〈英語〉

まとまりのある文章を読み取る力が不足しています。授業の中で、教科書の本文やまとまりのある文章を読み取ることについて重点的に取り組んでいきます。また、書く力も不足しているため、目的・場面・状況を設定し、既習表現を使用しながら言語活動を行い、自分の意見や考えを伝え合うことに重点をおいて取り組んでいきます。

〈全体的に〉

生徒質問紙から「将来の夢や目標をもっている」と回答した生徒の割合が少ないことが分かりました。このことは学習意欲につながる大きな要因となるため、学級活動や道徳など様々な場面において、自分の夢や将来像を思い描かせながら、そこからやる気を引き出す取組を行っていきます。

また、「学習の中でPCやタブレットなどのICT機器を使うことは勉強に役に立つ」と感じている生徒が多いため、現在、取り組んでいるタブレット等を活用した学習を工夫・改善していくとともに、積極的に「navima」(デジタルドリル)の活用を進めていきます。さらに、定期的実施している「イシタイム」を充実させ、基礎的・基本的な学力の定着を図ります。

ご家庭でも家庭学習の時間を確実に確保し、やる気を引き出す励ましの声掛けをお願いします。